

社団法人富士見町開発公社の 経営状況について

平成15年3月（平成14年度末）から、町がスキー場資産を買取り、その資産を貸付けて開発公社が経営を行うという経営改善策がスタートしております。町が特別会計を設置し、公社からの賃貸料収入で起債の返済等をしていきます。一方、今回の戦略では、開発公社の経営が健全に行われることが大前提ですので、町民の皆様にも公社の経営状況等を随時お知らせして参ります。

平成14年度決算状況

平成14年4月1日～平成15年3月31日

(千円)

	本社会計	収益事業会計		特 別 会 計					
科 目	本社会計	パノラマ リゾート 事業所	ホテル ニューふ じみ	川崎市八 ヶ岳少年 自然の家	川崎市八 ヶ岳市民 休暇村	多摩市立八 ヶ岳少年自 然の家	多摩市立 市民保養 所ふじみ	京都市職員 厚生会八ヶ 岳山荘	合 計
収 入	13,621	830,650	0	386,434					1,230,705
支 出	13,893	1,019,546	144,375	386,434					1,564,248
差 引	-272	-188,896	-144,375	0					- 333,543

- *パノラマスキー場の資産を1,625,714千円（税込）で町に売却しました。
- *パノラマリゾート事業所の支出の内に固定資産売却損が227,936千円あります。
- *ホテルニューふじみの支出の内に固定資産除却損として140,788千円あります。
- *経常利益は、35,360千円ありますが特別損失の計上により開発公社の損失は、全体で333,543千円となりました。
- *開発公社の借入金は、3,352,903千円あります。（平成14年度末）
パノラマリゾートでは、スキーのお客様の減少により残念ながら営業成績が低下しました。
平成14年度の夏の利用客数は、51,553人で前年比111.8%でした。
平成14年度の冬の利用客数は、142,676人で前年比83.3%でした。

平成15年度事業計画

平成15年4月1日～平成16年3月31日

(千円)

	本社会計	収益事業会計		特 別 会 計					
科 目	本社会計	パノラマ リゾート 事業所	ホテル ニューふ じみ	川崎市八 ヶ岳少年 自然の家	川崎市八 ヶ岳市民 休暇村	多摩市立八 ヶ岳少年自 然の家	多摩市立 市民保養 所ふじみ	京都市職員 厚生会八ヶ 岳山荘	合 計
収 入	11,700	900,000	0	401,987					1,313,687
支 出	11,700	824,562	0	401,987					1,238,249
差 引	0	75,438	0	0					75,438

- *パノラマリゾート事業所は、75,438千円の経常利益を見込んでいます。
- *この他にパノラマスキー場の残りの資産売却による売却損が発生する見込みです。
- *ホテルの営業については、平成13年度で終了しました。
- *町民の皆様にも是非パノラマリゾートに足を運んでいただき、スキー場のPRもお願いいたします。

■開発公社の組織、諸規定が変わりました。

開発公社の定款を長野県知事の認可を受けて変更しました。

- *町長の理事長兼務を止めました。
- *理事の選任を充て職から現場優先とし、機能的に改めました。
- *理事の人数を14名から8名に減員しました。
- *従業員給与、賞与、退職金の各規定を改正し「町職員に準ずる」を止めました。

開発公社は、従業員、関係者が一丸となって経営改善に努力して参ります。

町民の皆様には、今後も開発公社の再建にご支援・ご協力をお願いいたします。

パノラマリゾートでは、魅力的なイベントを数々計画しています。町民の皆様も是非足を運んでみて下さい。